

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2011.2.5 No.96 連絡先 FAX 042-555-1911



2011年度 横田基地に米軍再編経費 36億円 5年で580億円

政府の2011年度予算案の中で、「横田飛行場への航空自衛隊航空総隊司令部等の移設」に36億円が計上されています。2007年度から2010年度までの4年間の予算額は544億円だったので、5年間で580億円になります。

航空総隊司令部の図面を開示請求しても真っ黒に墨塗りされていたように、国民に知らされないまま巨額の税金が使われています。



(写真：航空総隊司令部。中央に玄関、窓は左右に15?。地下2階は延面積約15,000㎡と巨大)

米空軍の公式出版物で、第374空輸航空団広報部が日本人従業員のために毎月発行している『フジフライヤー』日本語版というのがあります。知人に見せてもらった2010年1月5日付の『フジフライヤー』には、「航空自衛隊航空総隊司令部の横田基地への移転」の見出しで「新施設配置図」が掲載されています。施設名は以下の通り。福生市も知らなかったようです。

1. 航空自衛隊補給倉庫、2. 保冷倉庫、3. 第5ゲート(共同使用)、4. 駐車塔(2カ所)、5. 駐車塔(共同使用)、6. 航空自衛隊アンテナ用鉄塔、7. 航空自衛隊診療所、8. 航空自衛隊防空指揮群庁舎、9. 訓練施設(2カ所、共同使用)、10. インフラ整備(変電施設)、11. 航空自衛隊宿舎、浴場、クラブ、12. 高級幹部宿泊施設、13. リクレーション複合施設、14. 託児所、15. 宿泊施設、16. 下士官学校、17. 航空自衛隊将官宿舎、18. 航空自衛隊講堂、食堂、売店、19. 航空自衛隊通信局舎、20. 航空自衛隊航空総隊司令部、21. 教育管理事務所/エネルギー支援センター (写真:工事で閉鎖された第5ゲート)



米占領下の沖縄 少女轢殺 嬉野京子氏撮影

1965年4月20日、沖縄・宜野座村で事件は起こりました。視界をさえぎるものもない道を米軍車が猛スピードで走ってきて、横断中の少女(6歳)を轢き殺したのです。祖国復帰行進に本土代表として参加していた嬉野さん、基地の密集する地域ではカメラを「危険です」と取り上げられていましたが、このときはやっと手元に戻っていました。撮ろうとすると「捕まる」

と仲間が制止します。「これが沖縄の現実じゃないか」と叫ぶ嬉野さん。たまたまへんぴな場所で米軍当局がない、1人の男性が「私の肩の陰から撮りなさい」と言ってくれて、たった一回シャッターを押して撮ったのがこの写真です。この写真は「沖縄の現実」が本土に伝わった最初の写真でした。1959年に石川市の宮森小学校にジェット戦闘機が墜落したときの写真はあったのですが、本土にもちこまれませんでした。(写真提供：嬉野京子氏)

米軍への「思いやり予算」5年に延長 年1881億円規模！？ (No. 96 の裏面)

前原誠司外相とルース駐日米大使は1月21日、2011年度からの在日米軍駐留経費負担（思いやり予算）に関する特別協定に署名しました。

今年3月に期限切れの現行協定にかわるもので、現行の3年の期限を5年（2015年度まで）に延長。

米軍基地労働者約23,000人の基本給や各手当、米軍施設、年間249億円を上限にした電気、水道、燃料などの光熱水費等「思いやり予算」に年間約1881億円規模の税金が支払われることとなります。

特別協定は通常国会での承認が必要です。政府は3月末までの承認をめざします。

民主党は2008年の野党時代、「米側に言うべきことを言えない政府の姿勢が問題」などを理由に、当時の協定延長に反対しました。「思いやり予算」は日米地位協定上、日本が支払う義務のない米軍への負担です。対米追随と軍拡をすすめるこれらの予算は削減・廃止を！

また、1月20日の日米合同委員会で、米空軍嘉手納基地に所属するF15戦闘機の訓練を米領グアムなど「米国施設の領域」に移転することで合意。訓練移転などの費用を日本側負担とすることを盛り込みました。米空軍三沢基地（青森県）・米海兵隊岩国基地（山口県）所属機の訓練移転も想定しています。沖縄など地元の「騒音軽減」と言う口実で莫大な訓練移転費用を日本側が負担するというのですが、外来機は制限なく飛来し地元負担は軽減されません。

新防衛大綱が定めた「動的防衛力」で自衛隊の海外展開を狙う菅政権

共産党は「戦争力」より「外交力」 民主は軍事偏重 自民は軍拡あおる

いま開かれている通常国会で、共産党の志位委員長は、『県内移設反対』『普天間基地の閉鎖・撤去』という沖縄県民の総意はもはや揺らぐことはない」と述べ、「日米合意」白紙撤回と米軍普天間基地（宜野湾市）無条件返還を迫りました。

志位氏はまた、尖閣諸島、朝鮮半島、千島列島一どの紛争問題でも、国際的道理に立った外交交渉をせず、軍備増強を進めようとしていると菅内閣を批判。「必要なのは軍事同盟という『戦争力』でなく、国際的道理にたった『外交力』だ」と主張しました。

これに対し民主議員は『戦争力』でいいのだ」とヤジを飛ばす場面もありました。

自民党は、軍拡路線をあおり、より右傾化を迫る立場を示しました。小池百合子総務会長は「動的防衛力」は「自民党時代にわれわれが方向性を打ち出したもの」と、防衛関係予算の増額を要求。スパイ防止法や「軍法会議」の必要性、「情報保全体制の強化」も求めました。

中曽根弘文参院議員は「憲法改正に向け議論を行っていくべきだ」と迫りました。

公明党の山口那津男代表は「日本外交の基軸は日米関係」と菅首相と同じ認識を示しました。

米軍ヘリパット建設に反対して住民が座り込む高江で 防衛局が工事再開！



昨年12月22日、沖縄防衛局は10ヶ月ぶりに高江でのヘリパット建設のための工事を「闇討ち」で再開しました。23日には米軍ヘリのホバリング（空中での停止飛行）で、座り込みテントが破損、椅子や食器が散乱する事態がありました。

住民の抗議と工事即時中止の要求にもかかわらず工事は続けられています。（写真2011.2.4 大西照雄氏提供。HP宝の海参照）

菅さん！こんな変質ありますか？

- 「思いやり予算」3年の現行協定を5年に金額は年1881億円規模を5年間維持
- 前原外相「思いやり予算という言葉は適当ではない」「接受国支援」と記者に要請
- 米空軍嘉手納基地のF15訓練を米領グアムに移転する。費用は日本側が負担